

賢威 8 のアドセンス広告の説明書

賢威 8 テンプレートでのアドセンス広告の説明書です。

賢威 8 テンプレートを使って解説しています。

この「賢威 8 のアドセンス広告の説明書」の著作権は、全てベルメンエアにあります。

アドセンス広告について、賢威8テンプレートの「共通コンテンツ」機能を使った方法を解説していきます。

賢威8テンプレートの「共通コンテンツ」(ショートコード)を使った簡単なアドセンス広告の設置の方法を解説していきます。

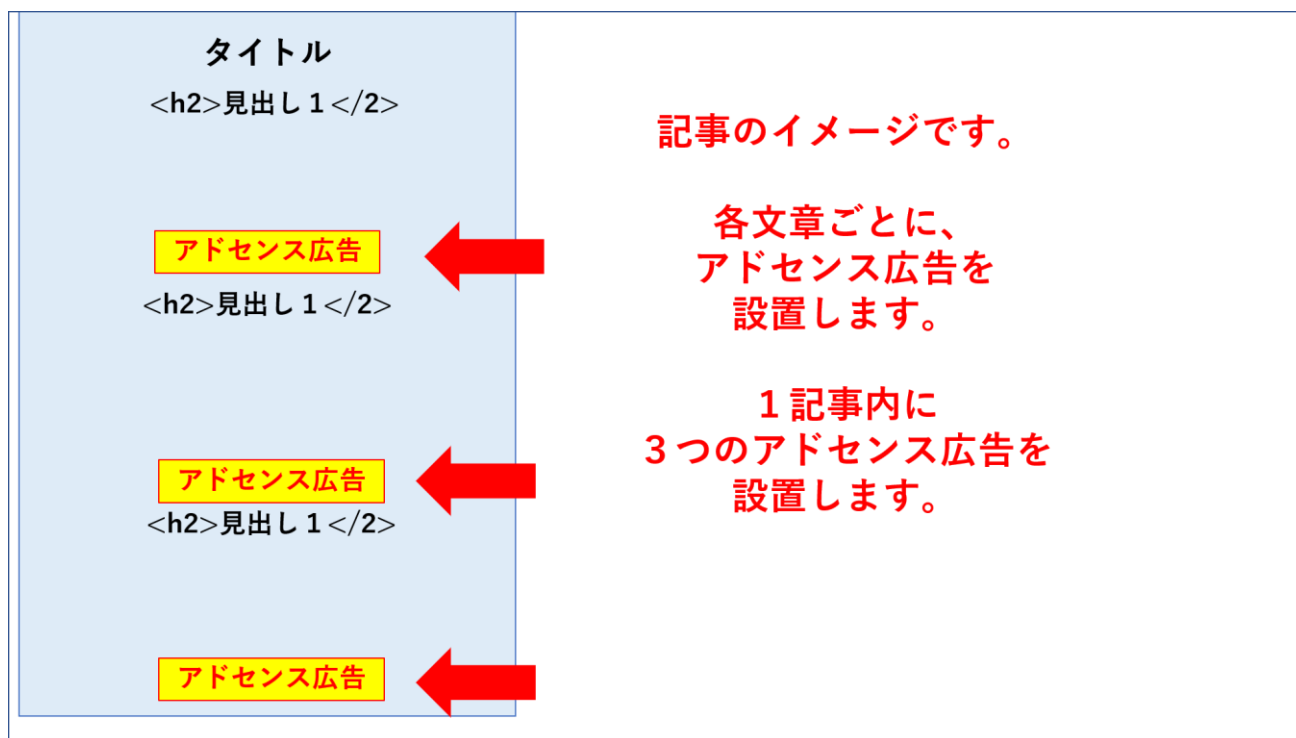
また、アドセンス広告は、自由に設置できますので、私の方法以外にも、効果的な設置方法、場所はあると思います。ここで、私がおすすめする方法は、アドセンス初心者で、どこに、どの広告を設置したらよいのか、分からない方へ向けて解説していきます。

私の個人的な意見ですが、初心者の方には、アドセンス広告は自動広告のみがおすすめです。任意の場所にアドセンス広告を設置する方法を身に着けることは大切ですが、若干難しいので、初心者の方で、難しいと感じたら、自動広告のみでも良いです。

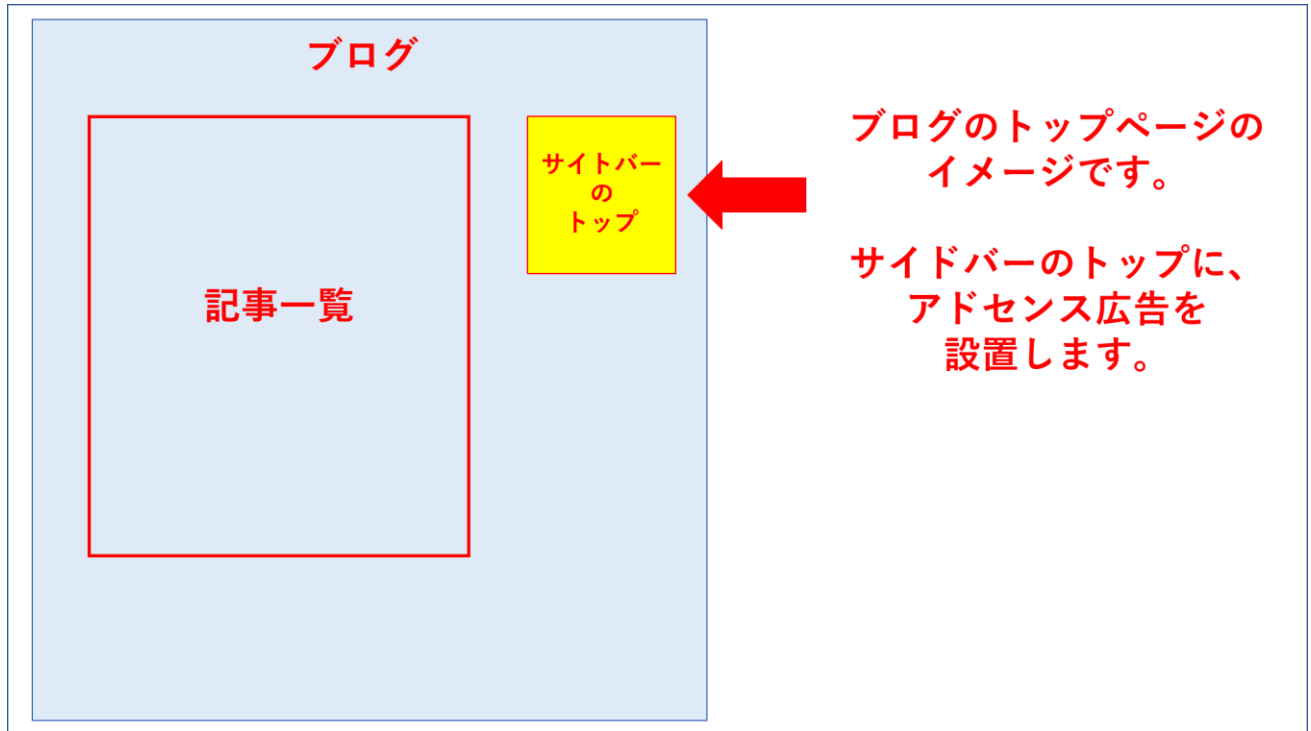
私のおすすめのアドセンス広告は、自動広告のみ！

最低限、これだけでも良いです。アドセンス初心者の方が、迷ってしまうのが、アドセンス広告の設置場所です。しかし、本当にやらなければならないのは、記事を書いて、アクセスを集めることです。もしも、アドセンス広告の種類、配置場所で悩んでしまい作業が止まってしまうのならば、「自動広告のみ」でも良いです。

ここからは、ちょっと頑張って、「自動広告」＋アドセンス広告を設置する方法です。



1 記事内に 3 個のアドセンス広告を配置します。



ブログ全体では、サイドバーのトップに1個のアドセンス広告を配置します。

実際に、アドセンス広告を「新しい広告ユニット」で作成します。

作成するアドセンス広告は、

- 1 記事の上部
- 2 記事の中部
- 3 記事の下部
- 4 サイドバーのトップ

4個のアドセンス広告を作成します。

それぞれのアドセンス広告の種類と設置方法を解説していきます。

アドセンス広告は、「自動広告」と「テキスト広告とディスプレイ広告」の2つを使います。



The screenshot shows the AdSense 'New Ad Unit' interface. At the top, the breadcrumb 'コンテンツ > 広告ユニット' is visible. Below it, a button labeled '★新しい広告ユニット' is highlighted with a red box. A red arrow points from this button to the text '新しい広告ユニットをクリックします。'. Below the button is a table header with '名前' and 'ID'. Further down, a card titled 'テキスト広告とディスプレイ広告' is shown, featuring an illustration of a smartphone. A red arrow points from this card to the text 'テキスト広告とディスプレイ広告を選択します。'. The card contains a description of the ad format and a 'ヘルプ' link, with a '選択' button at the bottom right.

コンテンツ > 広告ユニット

★新しい広告ユニット

新しい広告ユニットをクリックします。

テキスト広告とディスプレイ広告

テキスト広告とディスプレイ広告を選択します。

アドセンスの管理画面の「広告」→「広告ユニット」で、「新しい広告ユニット」をクリックします。「テキスト広告とディスプレイ広告」を選択します。

名前

アドセンス広告の名前を付けます。

広告サイズ

表示中 推奨

レスポンス

自動サイズ
レスポンス
プレビュー
推奨:

広告タイプ

テキスト広告とディスプレイ広告 収益見込みに基づく推奨案

「テキスト広告とディスプレイ広告」

テキスト広告のスタイル

カスタム チャンネル

表示可能な広告がない場合

保存してコードを取得 キャンセル

「保存してコードを取得」をクリックします。

アドセンス広告に名前を付けます。

例として

「記事の上部」

「記事の中部」

「記事の下部」

「サイトバーのトップ」

と名前を付けます。

広告サイズは「レスポンス」を選択します。

広告タイプは「テキスト広告とディスプレイ広告」

テキスト広告のスタイル・カスタムチャンネル・表示可能な広告がない場合、は、デフォルトのままで良いです。

最後に「保存してコードを取得」をクリックします。

すると、アドセンスのコードが出てきます。

広告コード

✕

✓ 広告ユニットを作成しました。

このコードは Google の [プログラム ポリシー](#) に準拠した [ウェブページ](#) または [ウェブサイト](#) のみで使用する必要があります。

この広告ユニットは、ページのスペースに合わせて自動的にサイズが調整されます。 [ヘルプ](#)

広告コード ?

```
<script async  
src="//pagead2.googlesyndication.com/pa
```

新しく作成された
アドセンスコードが
表示されます。

←

コピーして使います。

コードの設定の詳細については、[コード導入ガイド](#) をご覧ください。
Accelerated Mobile Pages を使用している場合は、この広告ユニットを AMP 対応にすることができます。 [ヘルプ](#)

広告ユニットに変更を加えると、パフォーマンス レポートに反映されるまで 2 時間ほどかかる場合があります。

閉じる

<center>

スポンサーリンク

1 記事の上部のアドセンスコード ←新しく作成したアドセンスコードをコピペします。

</center>

例

<center>

スポンサーリンク

<script async

src="//pagead2.googlesyndication.com/pagead/js/adsbygoogle.js"></script>

<!-- 記事の上部 -->

<ins class="adsbygoogle"

style="display:block"

data-ad-client=""

data-ad-slot=""

data-ad-format="auto"

data-full-width-responsive="true"></ins>

<script>

(adsbygoogle = window.adsbygoogle || []).push({});

</script>

</center>

これを、4個、「記事の上部」「記事の中部」「記事の下部」「サイトバーのトップ」作成します。「スポンサーリンク」を必ず付けます。

<center>

スポンサーリンク

1 記事の上部のアドセンスコード

</center>

<center>

スポンサーリンク

2 記事の中部アドセンスコード

</center>

<center>

スポンサーリンク

3 記事の下部アドセンスコード

</center>

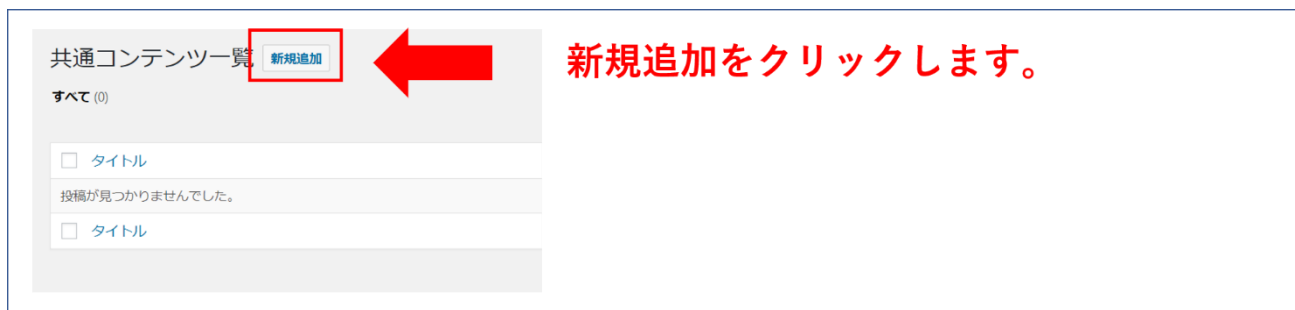
<center>

スポンサーリンク

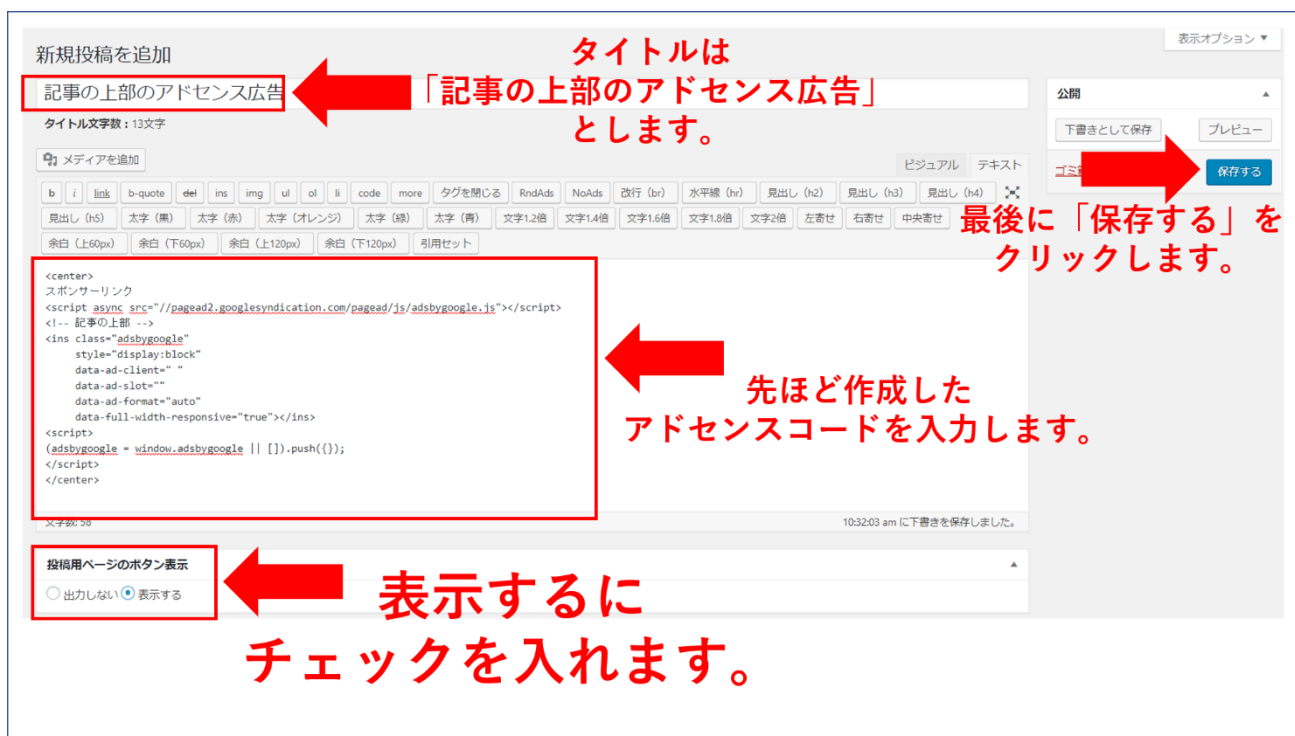
4 サイトバーのトップアドセンスコード

</center>

4つのアドセンスコードを作成したら、作成したアドセンスコードを記事、ブログに設置していけば、よいのですが、記事は毎回、コピペして貼り付けていくのは手間がかかります。そこで、**賢威テンプレートの機能「共通コンテンツ」**（ショートコード）機能を使います。



ダッシュボード→共通コンテンツ一覧→新規追加をクリックします。



タイトルは、分かりやすい名前を付けます。例「記事の上部のアドセンス広告」

記事欄には、新しく作成したアドセンス広告を入力します。

投稿用ページのボタンの表示は、「表示する」にチェックを入れます。

最後に「保存する」にチェックを入れます。

下の方にショートコードが作成されます。



ショートコードが作成されます。

次に、記事の投稿ページに移ります。

テキストエディターを見てみます。



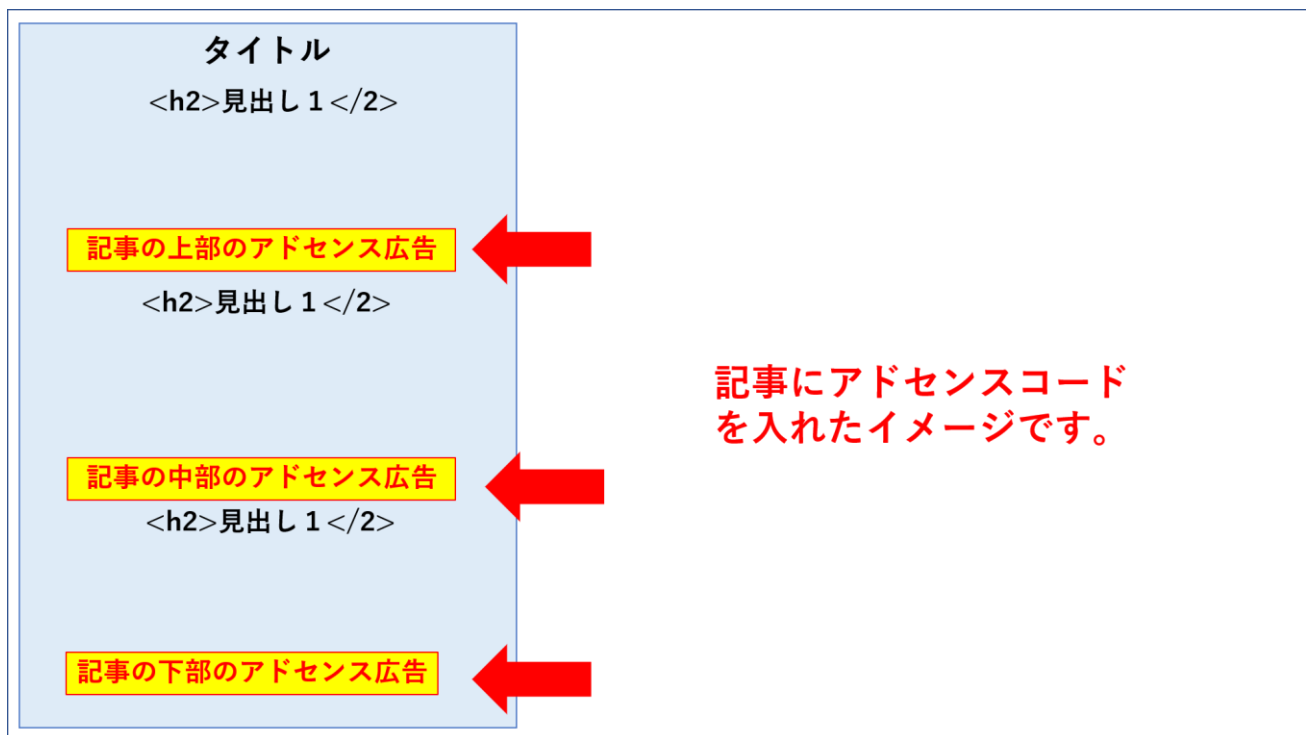
先ほど作成したショートコード「記事の上部のアドセンス広告」が表示されています。

テキストエディターにショートコードの「記事の上部のアドセンス広告」ボタンが追加されて表示されています。

テキストエディターに追加された「記事の上部のアドセンス広告」 ボタンをクリックすると、自動で、アドセンス広告が挿入されます。

この機能はとても使いやすく、簡単に設定できます。

記事を作成して、アドセンス広告を設置したい箇所で、ショートコードの「記事の上部のアドセンス広告」をクリックして、アドセンス広告を設置します。



毎回アドセンスコードをコピペするより簡単で、また、プラグインよりも簡単に行えます。

ただ、プラグインは、記事を投稿してしまえば、自動でアドセンス広告が配置されるので、慣れてしまえば簡単ですが、狙ったところに広告を配置するのが難しい、プラグインの設定が難しい方には、賢威テンプレートの機能「共通コンテンツ」（ショートコード）機能を使った方法をおすすめします。

ショートコードは、編集ができます。例えば、アドセンス広告を「インフィード広告」「記事内広告」に変更したい時には、共通コンテンツ一覧（ショートコード一覧）で作成した

ショートコードの内容を編集すれば、すべての記事に配置しているアドセンスコードが一瞬で変更できます。

しかし、すべてのアドセンスコードをコピーして貼り付けていると、すべての記事でアドセンス広告の張替えをしなくてはなりません。これは記事数が多くなれば、手間がかかりすぎてしまいます。

以上のことから、アドセンス広告は、賢威の共通コンテンツ機能（ショートコード）を使う方法をおすすめしています。

それでは、残りの1個、「サイドバーのトップ」のアドセンスコードについて作成していきます。

<center>

スポンサーリンク

4 サイドバーのトップアドセンスコード

</center>

サイドバーのトップにアドセンス広告を配置します。

ダッシュボード→外観→ウェジェット



ウィジェット [ライブプレビューで管理](#)

アクセシビリティモードを有効にする

利用できるウィジェット

ウィジェットを有効化するにはサイドバーにドラッグするかクリックしてください。ウィジェットを無効化し設定を削除したい場合は、ドラッグして右側に戻してください。

Related Posts ▼
Related Posts

【賢威】PV数ラン... ▼
賢威テンプレートに付属する記事PV数ランキングを表示するウィジェットです

【賢威】最近更新... ▼
最近更新した記事のリストを表示する賢威のカスタムウィ

RSS ▼
RSS/Atom フィードのエントリ

【賢威】サムネイ... ▼
最近の投稿にサムネイル画像を付けて表示する賢威のカスタムウィジェットです

アーカイブ ▼
投稿の月別アーカイブ

サブコンテンツ

カスタム HTML ▼

最近の投稿 ▼

カテゴリー ▼

アーカイブ ▼

メタ情報 ▼

「カスタムHTML」を一番上に追加します。

左のエリアから「カスタム HTML」を追加します。

カスタム HTML

タイトル: **タイトルは空欄です**

内容:

```
1 <center>
2 スポンサーリンク
3 <script async
4 src="//pagead2.googlesyndicat
5 bvgoogle.is"></script>
6 サイドバーのトップ
7 <ins class="adsbygoogle"
8 style="display:block"
9 data-ad-client=""
10 data-ad-slot=""
11 data-ad-format="auto"
12 data-full-width-responsive="true"></ins>
13 <script>
14 (adsbygoogle = window.adsbygoogle || []).push({});
15 </script>
```

削除


保存

最後に保存をクリックします。

**サイドバーのトップの
アドセンスコードを
貼り付けます。**

**サイドバーのトップに
アドセンス広告が
表示されます。**

スポンサーリンク



選べるボルボ1年モニター
選べるボルボ1年モニターでボルボの
先進安全・運転支援機能を体感。W
チャンスで豪華賞品が当たる

カスタム HTML は、タイトルは空欄です。

内容は、「サイドバーのトップ」のアドセンスコードを入力します。

最後に「保存」をクリックします。

これで、ブログにアドセンス広告が設置できました。あとは、記事を増やしていきましょう。

ある程度ブログの運営に慣れてきたら、アドセンス広告の種類を増やしたり、設置場所を変更してみたりしたらよいと思います。

各アドセンス広告に、名前を付けています。

これは、

どこのアドセンス広告が、どれだけクリックされているか、収益が上がっているのか、統計が取れます。アドセンスの管理画面で確認できます。

その結果をみて、今後のアドセンス広告を設置する種類や位置を検討すると良いと思います。

ちなみに、私のアドセンス広告のクリックの状況は、

- 1位 記事2章の終わり
- 2位 記事3章の終わり
- 3位 サイドバートップ

となっています。

以上「賢威8のアドセンス広告の説明書」でした。

ベルメンエア
アドセンスリアライズ
<https://muninget.com/>